



NO. 970  
 発行  
 2019年  
 3月19日  
 国鉄労働組合  
 新潟地方本部  
 発行責任者  
 加藤 秀夫  
 編集責任者  
 教 宣 部

# 組織強化・拡大へ

## 第125回 拡大地方委員会



第125回拡大地方委員会が2月23日(土)13時から開会されました。  
 藤井副委員長の開会あいさつでスタート、13時現在、委員は11名中10名の出席を確認し拡大地方委員会が成立したことが宣言されました。

### 議長に酒井委員

議長は直江津地域分会の酒井委員を選出しました。



酒井委員はあいさつで、「今冬は異常暖冬だ。昨年の444Mから考えると別世界だと感じる。東労組の瓦解以降、職場の専制支配が進んでいる。国労には締め付けは

### 全体の意見

加藤委員長のあいさつ、東日本本部から矢部副委員長からあいさつがありました。その後、福富書記長から方針提

無いが未加入者への締め付けが強くなった。職場環境が悪くなっている。委員会で職場の問題点など発言を活発にお願いしたい」とありました。

### あ加藤いさつ委員長



国労の課題と方向性について、今も厳しい状況だ。組織拡大につきる。組織を増やすことが大きな問題解決だ。組織拡大は難しいが何もしないではいけない。ひとつひとつやっていく。会社の中で変革していく。その積み重ねが組織拡大につながっていく。  
 拡大委員会で意見、要望など発言していただいて、そのことによって前進していくと思う。

起があり、全体討論に移りました。



今回のモニタリング、まだ始まっていないので状況についてまだ見えていない。今冬は、投排雪車2回、モーターカー2回出動した。機械グループは、8名中2名退職、直江津へ2名冬期などあり十分な除雪体制が取れない。

社会人採用はほとんどは新潟から酒田に来ている・結婚している。代用証の支給がない。代用証の支給を。



とらん丸は一回も使っていない。現場まで輸送し踏み切りで、さい線する。しかし準備に時間がかかると。1台600万円、形だけの対策ではないか。せいせい、駐車場の除雪程度くらいではないか。

工務では委託が進んでいる。モニタリングの実施によって線路巡

回が延期に。2月、線路故障が多く発生している。

エルダー制度について、年齢に見合った出向先をあつせんすべきだ。セコム上信越は厳しい労働条件になっている。

職場の設備機械やガスバーナーなど古くなって使いにくくなっている。どうすればいいのか。会社は金がないと言っている。



出向先の労働条件が極めて悪い。全体的に要員が足りなくなるのではないかと。契約社員の年収は200万円くらいだ。



# 矢部副委員長 あいさつ



国労東日本本部・矢部副委員長からあいさつがありました。

JR東日本は社員の6割から7割が未加入になっている。会社はその社員優先の労務政策を考えている。組織拡大が前進していれば財政も改善する。拡大状況をホームページにさまざまな情報を載せている。

今年の日程～4月22日まで学園研修・4月23日から現場配属。グループ変革2027は各系統で合理化施策が実施される。その施策について検証する。

再雇用制度について～貨物は4月から新人事制度が実施する。東日本は新しいエルダー制度が導入される。



エルダーについて・職場では3名のうち2名は本体エルダーで1名は清掃関係。新潟のNTSは1名も採用しなかった。JRからの出向は賃金が高いから採用しない。ハローワークに求人を出している。  
トキ鉄に出向している。NTSに行きたいと言っているが駄目だ。長岡運輸区で女性の時短行路。  
トキ鉄に出向し年休の取得が出来ず流している。契約社員4年目・2名は延長しないで辞めることになった。

エルダー4名そのうち3名が本体エルダーで1名はトキ鉄へ。運適医適に落ちたら転勤があると言われた。  
セコムジャステック出向し60歳以上の出向者は動められない場合は



乗務員は募集するが駅員は集まらない。会社が軌道に乗っていないと思う。若い人がドンドン辞める時期があったが今は無い。二本木駅は無人化になる予定。



辞めるしかない環境だ。見習いを2週間くらいやって辞める人もいる。東京オリピック開催で警備員の要員が足りず人手不足状態だ。月40時間の超勤が発生している。最高は70時間だ。



職場の問題点など、活発な発言があり予定していた時間を越えて意見が出されました。



出向先の労働条件や安全問題など出され、特に関連会社の厳しい労働条件や職場環境の問題点が多く出されました。  
そして最重要課題である組織拡大についての発言が少なかったですがひとりひとりが一歩前に入る取組みを進めていきましょう。

委員会はその後、書記長集約、委員会宣言があり最後に加藤委員長の団結がんばろうで、さらに団結を深めました。



安全問題！新潟駅の高架化に伴って2番線からお客さまの転落事故が発生しました。7月と10月の2回発生しています。工事完了が2021年。まだ2年あります。

# 山添議員が 新潟駅調査

3月10日、この問題について参議院の山添議員が新潟駅の調査に急遽入りました。12時35分から約40分間でした。この日は、建交労・富井書記長と国労から藤井副委員長が一緒に調査同行しました。

駅の入り口からホームまでの通路そして階段、2番線ホームの実態について調査しました。保安要員がないこと・エレベーターやエスカレーターが無いなど、山添議員に説明、2年間この状態がつづくことについて大きな危機感を感じていました。このことは国会の中で指摘したいと話していました。

